

NEWS Club O.A

第43号

相続で弁護士が必要な場合とは？

人形町恵和法律事務所

いまむら めぐみ

弁護士

今村 恵



2024年1月6日発行

相続問題で弁護士に相談すべきケースとは？

相続は大切な人を失った後に発生する重要な手続きですが、時には複雑な問題が絡むこともあります。トラブルを未然に防ぐためや、すでに発生している問題を解決するために、弁護士に相談することが有効です。この記事では、弁護士への相談が必要な具体的なケースについて解説します。

1. 遺産分割でトラブルが発生している場合

相続人同士で遺産分割に関する意見が対立し、話し合いが進まない場合は弁護士の助けが必要です。

- 相続人の人数が多く、意見がまとまらない
- 一部の相続人が遺産分割に応じない
- 特定の相続人が遺産を独占しようとしている

弁護士は法的な観点から公平な解決策を提示し、調停や裁判の手続きをサポートします。

2. 遺言書の有効性や解釈について争いがある場合

遺言書が残されている場合でも、内容の解釈や有効性について疑問が生じることがあります。

- 遺言書の内容が不明確である
- 遺言書の形式や署名に問題がある
- 遺言書の内容に納得できない相続人がいる

弁護士は遺言書の法的な有効性を確認し、解釈や執行のサポートを行います。

3. 相続財産の調査が必要な場合

相続財産が不明確であったり、隠されている可能性がある場合は注意が必要です。

- 預貯金や不動産の有無がはっきりしない
- 故人が借金を抱えていた可能性がある
- 財産が国外にある

弁護士は財産調査を代行し、正確な情報をもとに適切な相続手続きを進めます。

4. 借金や負債の相続に関する問題がある場合

故人に借金や負債がある場合、それをどのように処理するかが問題になります。

- 借金の存在を知らずに相続を開始してしまった
- 相続放棄や限定承認を検討している
- 債権者から請求を受けている

弁護士は負債の整理や相続放棄手続きについて適切なアドバイスを提供します。

まとめ

相続問題は家族間のトラブルに発展しやすく、法律や手続きが複雑なことも少なくありません。不安を感じたら早めに弁護士に相談し、専門的なアドバイスを受けることでスムーズに問題を解決できる可能性が高まります。相続の準備や手続きで悩んでいる方は、まず弁護士への相談を検討してみましょう。

弁護士 今村恵

★今村先生と直接ご相談が出来ます（初回無料相談）！

人形町恵和法律事務所

HP <https://imamura-law.com/>

TEL 03（6661）6245



HP QRコード

※相談する前に、色々確認したい場合
Club OA事務局までお問合せください。

お問合せ先 info@club-oa.com